

第3学年 道徳の時間学習指導案

主題名：働くことの大切さ【4－（2）勤労】

指導者 江田島市立大古小学校

教諭 江川 真由美

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 1 日 時 | 平成 26 年 6 月 27 日（金） 第 5 校時 |
| 2 学 年 | 第 3 学年 男子 14 名 女子 12 名 計 26 名 |
| 3 資料名 | 「きれいなながれに」（出典 東京書籍）一部改作 |

主題について

本主題は、小学校学習指導要領道徳の第3学年及び第4学年の内容項目4－（2）「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。」を基に設定したものである。また、「力を合わせて働くことの大切さが実感できる道徳学習プログラム」の第2時として学習する。

児童が自立した一人の人間として生きていくには、仕事に対して誇りと喜びを見いだし、将来や社会に対する夢、希望、生きがいなどをもって仕事に取り組めることが大切である。また、働くということが、自分に課された社会的な責任を果たすという意味においても重視する必要がある。そのことを通して、社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びなどを味わうことができる。この段階の児童においては、働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって、自分の役割を果たし、力を合わせて仕事をするものの大切さを理解できるようにするとともに、進んで働こうとする態度を育てる必要がある。特に、今の生活の中で、みんなのためにできることについて考え、仕事を見つけたり、それに参加したりして、実践に結び付けていくことができるような指導が重要になる。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度、「働くことのよさが実感できる学習プログラム」を学習し、みんなの役に立つ、仕事のやりがい、自分の成長という働くことのよさを実感しながら、働こうとする意欲を高めることができた。

3年生になって中学年の仲間入りをし、やる気をもっていた年度当初から、全力で取り組んだ運動会も終わり、生活態度にもやや中だるみが見られる頃である。5月に実施した道徳アンケートでは、「掃除や係活動に進んで取り組んでいる」について肯定的に回答した児童は100%であったが、「学校やクラスのために役に立っていると思うことがある」について肯定的に回答した児童は88.5%と全員が進んで掃除等に取り組んでいることから考えると、やや低い結果であった。やらなければならない掃除や係活動には一生懸命取り組んでいるが、それが力を合わせて仕事をするものの大切さに気付かず、自己満足に終わっていたり、それぞれの役割を果たしていくことが、みんなの役に立つということを理解するまでには至っていなかったりする児童もいる。

指導のポイント

本資料は、友達に誘われて川の掃除を始めた「ぼく」が、川の汚さに後悔しながらも、自らの意思で掃除をやり遂げ、きれいになった川を見て、友達と顔を見合わせてにっこりするという内容である。挫折しそうになりにながらも、友達と力を合わせて働いて達成感をもつ「ぼく」の気持ちを考えることで、働くことの大切さに気付かせ、力を合わせて進んで働こうとする態度を育てたい。

本学習の指導に当たっては、以下の3点に留意して進めていきたい。

1点目は、展開前段で、動作化や役割演技を取り入れることである。それにより、資料の「ぼく」の心情により共感し、実感を伴って考えられるようにしたい。

2点目は、展開後段で、友達と力を合わせて働いた経験を想起させることである。友達と力を合わせて働いたことを発表することは、発表者と名前が挙がる児童、お互いのがんばりを肯定的に認め合うことにつながり、自尊感情をはぐくむことにつながると考える。

3点目は、終末で、高学年のプール掃除の様子を紹介することである。本学級の児童の知らないところで、力を合わせて働いてくれた高学年に支えられて、今のプール学習ができることを伝えとともに、力を合わせて働けば、あんなに広いプールもきれいにすることができることを実感させ、働くことの大切さを感じさせたい。

＜生徒指導の三機能の視点＞

自己決定の場を与える

展開前段では、自分の考えをワークシートにまとめる時間の確保、自分の考えを発表する場の設定をする。

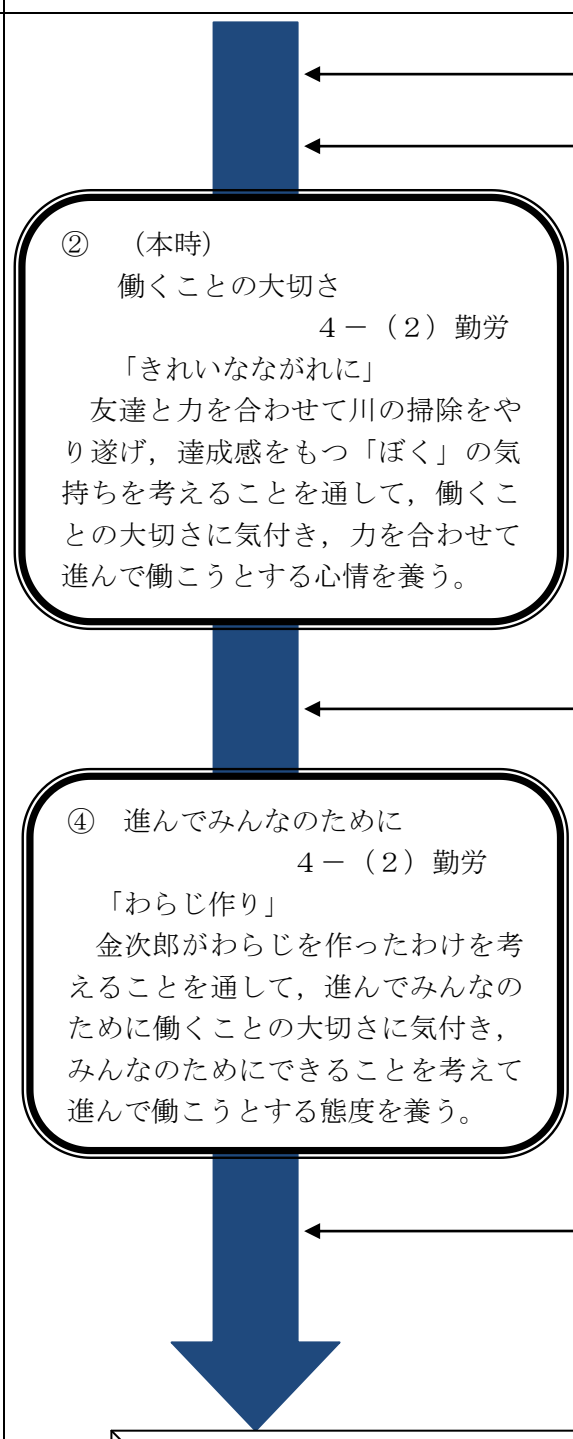
共感的人間関係を育成する

展開後段では、友達と力を合わせて働いたことを想起し、発表する活動を取り入れる。

指導者は、児童の発表にうなずきや相づちで応え、共感的に受け入れるようにする。

道徳学習プログラム 単元構想図

第3学年 力を合わせて働くことの大切さが実感できる道徳学習プログラム

時期	道徳の時間	教科・特別活動・総合的な学習の時間・常時活動・家庭との連携	児童の意識の流れ
6月第3週	 ② (本時) 働くことの大切さ 4－(2) 勤労 「きれいなながれに」 友達と力を合わせて川の掃除をやり遂げ、達成感をもつ「ぼく」の気持ちを考えることを通して、働くことの大切さに気付き、力を合わせて進んで働こうとする心情を養う。	①【行事】 「小中クリーンタイム」 小中が連携し、校区の美化活動を行う。	① 中学生と一緒にクリーンタイムで校区をきれいにしてみよう。
6月第4週		③【学級活動】 「聖徳太子ゲーム」 一人ではできないことも何人かで協力すればできるということを体験するエクササイズを行う。	② 力を合わせて進んで働く気持ちがいね。
7月1週	④ 進んでみんなのために 4－(2) 勤労 「わらじ作り」 金次郎がわらじを作ったわけを考えることを通して、進んでみんなのために働くことの大切さに気付き、みんなのためにできることを考えて進んで働こうとする態度を養う。	⑤【学級活動】 「学校ピカピカ・ビフォーアフター」 学校の汚れが気になるところを探し、友達と協力してきれいにする。3年生みんなが少しずつ自分の決めた役割を果たすことで、学校全体がきれいになることを学校の地図で確認し、自他の頑張りに気付く。	③ 友達と協力すると一人ではできないことができるんだね。 ④ 自分にできることを考えて、進んでみんなのために働くことは大切なんだな。 ⑤ 学校がピカピカになるようにみんなで力を合わせて働くぞ。それぞれが自分の持ち場をきれいにすれば、学校全体がきれいになるんだね。
目指す子供像 働くことの大切さに気付き、進んでみんなのために働く子			

本時の学習

(1) 本時のねらい

- 友達と力を合わせて川の掃除をやり遂げ、達成感をもつ「ぼく」の気持ちを考えることを通して、働くことの大切さに気づき、力を合わせて進んで働こうとする心情を養う。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	主な発問 (○) と中心発問 (◎) 予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 (・) 評価 (※)
導入	1 今まで掃除したことのあ る場所を想起 する。	○ みなさんは、今までどんな場所を掃除した ことがありますか。 ・ 教室 ・ 廊下 ・ 靴箱 ・ グランド ・ 道路	・ これまでの掃除の経験を想起 し、本資料への方向付けを図る。
展開 (前段)	2 「きれいな ながれに」を 聞いて話し合 う。	○ 掃除なんか始めるんじゃなかったと思っ ている時、「ぼく」はどんなことを考えているで しょう。 ・ 汚いな。ゴミが多くていやだな。 ・ 誰がこんなにゴミを捨てたんだ。 ・ 掃除なんてやめとけばよかった。 ○ 「ぼく」はどんな気持ちから、ゴミを拾い 続けているのでしょうか。 ・ 仕方がないから最後まで拾おう。 ・ だんだんきれいになるからがんばろう。 ・ 友達と一緒にがんばろう。 ◎ せき止められていた水が勢いよく流れ始め て、友達と顔を見合わせてにっこりした時、 「ぼく」はどんなことを考えているでしょう。 ・ やっときれいになった。うれしいな。 ・ いっしょにがんばってよかったね。 ・ 汚い川がきれいになって気持ちがいいね。	・ 題名はブラックボックス型で提 示し、主題に関わる価値を初めか ら伝えてしまうことを避ける。 ・ 資料は分割提示をする。 ・ 動作化で場面を想像しながら、 掃除を始めたことを後悔する「ぼ く」の気持ちに共感させる。 ・ 嫌になりながらも、掃除をがん ばろうと進んでゴミを拾う気持 ちに共感させる。 ・ ワークシートにじっくり考えて 書く時間を確保する。＜自己決定＞ ・ 力を合わせ、進んで働いた後の 達成感に共感させる。 ・ ペアトーク後、役割演技で発表 させ、実感的な価値理解を図る。 ※ 力を合わせて進んで働くこと の気持ちよさを感じ、働こうとす る意欲を高めることができたか。 (ワークシート)
展開 (後段)	3 自分の経験 を振り返る。	○ 友達と力を合わせて進んで働いたことがあ りますか。その時どんな気持ちでしたか。 ・ 図工が早く終わって廊下を掃除した。き れいになって気持ちよかった。 ・ クリーンタイムをした時、友達と花の苗 植えをした。地域の人が褒めてくれてうれ しかった。	・ 友達と力を合わせて進んで働い たことを発表することで、お互い のがんばりを肯定的に認め合う。 ＜共感的人間関係＞
終末	4 教師の説話 を聞く。	○ これはプール掃除の写真です。みなさんが 今楽しくプールに入れるのは、力を合わせて 掃除をした高学年のおかげですね。	・ 力を合わせることで広いプール もきれいになることを理解させ、 働くことの大切さを感じさせる。

板書計画

そうじをしたことのある場所

- ・教室
- ・廊下
- ・くつばこ
- ・グラウンド
- ・道路

きれいながれに

絵③

力を合わせて進んではたらこう

・図工がおわって

・クリンタイム

プールそうじ

プール掃除
の写真

絵②

せき止められていた水がいきおいよく
ながれ始めて、友だちと顔を見合わせて
につこりしたぼく

やっときれいになった。うれしいな。
いっしょにがんばってよかったね。
きたない川がきれいになって気持ちが
いいね。

絵①

そうじしてみようか。

どぶ川のそうじをはじめたぼく

そうじなんかはじめるんじゃないかな

きたないな。いやだな。

だれがすてたんだ。やめとけばよかった。

そうじをつづけたぼく

しかたがない。がんばろう。
だんだんきれいになるから。
友だちといっしょにがんばろう。

ワークシート・道徳の時間アンケート

きれいながれに

三年（ ）

○ せき止められていた水がいきおいよくながれはじめて、友だちと顔を見合せてにつこりした時、「ぼく」はどんなことを考えているでしょう。

絵③

道徳の時間アンケート（ワークシート裏面など）

（とても・まあまあ・あまり・ぜんぜんの4段階で回答）

① 「ぼく」の気持ちを考えながら、力を合わせて進んで働くことは大切だと思いましたか。

② 自分が働いた時のことを思い出して、力を合わせて進んで働くことは大切だと思いましたか。

③ これから、力を合わせて進んで働こうと思いましたか。